

# 地域の認知症ケアの拠点としての 認知症グループホームのあり方に関する 調査研究事業報告

平成29年（2017）年3月

株式会社 三菱総合研究所

# 第1章 事業の概要

## I. 事業の背景と目的

〓平成27年1月「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)が厚生労働省と関係11府省庁の協働により策定されました。

〓この「新オレンジプラン」において明示された役割をはじめとして認知症グループホームは地域における認知症ケアの拠点として、その機能を地域に展開していくことが期待されていることを踏まえつつ、その具体的な内容について検討し、今後の認知症グループホームのあり方について議論を深めることを目的として行われました。

## Ⅱ．事業の内容

### A. 認知症グループホームの課題の整理

- ①認知症グループホーム「ケア」の特色
- ②地域の中での認知症グループホーム
- ③認知症グループホームというサービス

### B. 今後の認知症グループホームのあり方の検討、とりまとめ

## 第2章 認知症グループホームがこれまで果たしてきた機能・役割

### I. 我が国における認知症グループホーム（認知症対応型協働生活介護）の位置づけ

#### （1）制度上の位置づけ→P 1 1～P 1 2

□□利用者が可能な限り自立した日常生活を送ることができること

□□利用者が、家庭的な環境と地域住民との交流の下でサービスを受けられること

□□利用者の認知症の症状の進行を緩和し、心身の状況を踏まえ、日常生活を送るために適切なケアが提供できる専門性を持つこと

□□利用者にとって家であり、施設ではないこと

(2) 事業所の推移→資料参照P 1 3

(3) 地域に対する役割→資料参照P 1 3 ~P 1 4

## Ⅱ. 認知症グループホームが提供しているケアの特色→P 1 5 ~P 1 6

- 認知症の利用者の尊厳・自己決定権が尊重されること
- 共同生活という家庭的な環境で、生活に密着したサービスが提供され、利用者職員が対等な関係であること
- 利用者一人ひとりのニーズや状態に対応したケアが提供されること
- 利用者が生活を継続し、出来ることを自分ですることによって、役割や生きがいをもち、自立と自信を維持すること

### Ⅲ. 地域の中での認知症グループホームの役割→P 1 7 ~P 1 8

□□入居者が地域の一員として、地域とつながって暮らせる場

□□地域における認知症の相談・支援の拠点としての役割

□□地域のボランティア・認知症サポーター育成、人材交流の拠点としての役割

□□上記を通じた認知症の人が安心して生活できる地域づくりへの参画

## 第3章 認知症グループホームをめぐる環境変化

### I. 認知症グループホームを取り巻く社会環境変化→P 2 1

1) 少子高齢化の進展→P 2 1

2) 高齢者向け住まい等を取り巻く変化→P 2 2～P 2 3

①高齢者向け住まい等は多様で、近年は他のサービスの定員増が著しい

②将来的な介護人材不足の危惧

3) 高齢者を取り巻く変化→P 2 5～P 2 6

①高齢者の中で後期高齢者人口割合が増加



## Ⅱ. 認知症グループホームサービスをめぐる変化

### 1) 認知症グループホームの整備・運営に関する動向

①認知症グループホーム数は、これまで増加を続けてきた

②認知症グループホームのサービス量は今後も増加し、平成37（2025）年度26万人（対平成26年（2014）年度45%増）

③人材確保に苦勞している認知症グループホームが多い

## 2) 認知症グループホーム利用者（認知症高齢者）の動向

- ① 認知症高齢者数は今後増加すると推計→P 3 0
- ② 認知症グループホーム利用者は、近年、医療ニーズが高まっている→P 3 1
- ③ 認知症グループホーム利用者は、近年、重度化、重篤化する傾向にある→P 3 3
- ④ 9割が主な主介護者あり、「娘・息子」が多い→P 3 5

# 第4章 認知症グループホームの今後のあり方に関する論点整理

- I. 認知症グループホームの地域マネジメント力の強化
- II. 多様な地域のケアニーズへの対応力強化
- III. 生活を継続するための容態に応じた他機関との連携の促進
- IV. 認知症グループホームサービスの質の向上と担保
- V. 認知症グループホームにおける人材の確保・定着・育成の加速

## I. 認知症グループホームの地域マネジメント力の強化

(1) 現状と課題→P 4 0

(2) 今後の地域マネジメント力の強化に関する主な意見  
→P 4 0

(3) 今後のあり方に向けた論点整理→P 4 2～P 4 3

①地域における相談拠点としての役割について

②認知症グループホーム資質の地域展開について

## Ⅱ. 多様な地域のケアニーズへの対応力強化

(1) 現状と課題→P 4 4

(2) 今後の多様な地域のケアニーズに関する主な意見  
→P 4 4 ~P 4 5

(3) 今後のあり方に向けた論点整理→P 4 6 ~P 4 7

①地域でのシェルター機能を果たすことについて

②デイサービス等による地域の家族介護者支援の役割について

### Ⅲ. 生活を継続するための容態に応じた他機関との連携の促進

(1) 現状と課題→P 4 8

(2) 生活を継続するための容態に応じた他機関との連携促進  
に関する主な意見→P 4 8 ~P 4 9

(3) 今後のあり方に向けた論点整理→P 5 0

#### IV. 認知症グループホームサービスの質の向上と担保

(1) 現状と課題→P 5 1

(2) 今後の認知症グループホームサービスの質の向上と担保に関する主な意見→P 5 1～P 5 2

(3) 今後のあり方に向けた論点整理→P 5 3～P 5 4

①サービスの質の向上・担保に向けた評価制度の活用について

②評価に関するモデル実証等について

## V. 認知症グループホームにおける人材の確保・定着・育成の加速

(1) 現状と課題→P 5 5

(2) 今後の人材の確保・定着等に関する主な意見  
→P 5 5～P 5 7

(3) 今後のあり方に向けた論点整理→P 5 8～P 5 9

①人材の確保について

②人材の定着・育成・キャリアパスについて



ありがとうございました。